

特集 | 耐震改修を「診断」する

オーヴ・アラップと仕事をしたとき、建築をいかに構造的にリノベーションするかが彼らの設計の主眼だと知った。日本の構造技術者は永遠に地震と向き合って技術開発しなければならないのだから、耐震改修は構造技術者にとって絶好のチャンス(樫原健一・SERB)。建設当時の技術者は今日ではもう70〜80歳代です。必要とする耐震診断・耐震改修の業務に当たれる人材の不足は深刻。無経験の素人技術者は失格です(山田稔・神戸大学名誉教授)。



樫原健一×西村清志「耐震改修は経済活動の一貫。構造技術者はチャンスをつかめ」
山田稔「責任が問われる緩慢な建築行政。今こそ日本の技術力を生かすとき」
谷尾俊弘「耐震診断は一朝一夕にあらず。診断結果に差異が生じる理由とは」
京都大学総合人間学部吉田南2・3・4号館「PcPCaフレーム工法でデザイン向上」
JIA渋谷地域会「渋谷区内にある旧耐震基準の木造住宅すべてを戸別調査」
岡田恒男「着実な事業化と問題意識の共有化で学校施設の一刻も早い耐震改修を」



ワールドレポート |

「意外に面白い！」 上海万博

— 布野修司

建築と政治
〈重要文化財〉相当と言われながら、
明石小学校解体着手

オヒニオンの視線
園芸療法を通して、
生活をより豊かに、幸せに
— 澤田みどり

論評
—
区民のニーズに応えた政策が、
基礎自治体の命
— 桑原敏武

各地域に拠点を置く設計事務所の
作品集
建築集

オープンハウス⑨ |
H邸
— 竹中健次

